

文学部

英文学科

総合人文学科

歴史学科

教育学科

文学部での学び

文学部では、「ことば」を通して「人間」を学んでいます。その学びは、人間の在り方・生き方や人間の文化・歴史を多面的かつ多角的に検討し、「人間とは何か」「よく生きることとはどういうことか」という根源的で総合的な問いに迫るものです。このような学びの過程で身につけられた知識や考え方を土台として、他者との共生を可能にする能力と姿勢を育てていきます。「Think for Yourself, Think for the World」という文学部のモットーは、このねらいをまっすぐに表したものです。

他者のため、世界のために課題を見だし解決できる力を育みながら、自らを知り、自ら考え、他者とともに行動できる人を育てる場、それが文学部です。

文学部をもっと知る



Admission Policy

入学者受け入れの方針
アドミッション・ポリシー

- 1.東北学院大学の教育理念である「キリスト教による人格教育」を基礎とする教育プログラム(聖書とキリスト教に関する授業及び大学礼拝など)について理解し、主体的を持ちつつ多様な人々と協働して学ぶことを強く望んでいる。(主体的に学ぶ態度)
- 2.文学部及び各学科の教育理念・目的や教育内容を理解した上で、文学部各学科における主体的な学びを強く望んでいる。(主体的に学ぶ態度)
(英文学科)英語力を向上させ、英米文学・言語学を学ぼうとする意欲を持ち、人間と社会が抱える諸問題を解決するための学修に主体的に取り組もうとしている。
(総合人文学科)思想・哲学・文化・芸術・宗教・神学等の人文諸学を学ぼうとする意欲を持ち、人間と社会が抱える諸問題を解決するための学修に主体的に取り組もうとしている。
(歴史学科)歴史学をグローバルかつローカルな視点から学ぼうとする意欲を持ち、人間と社会が抱える諸問題を解決するための学修に主体的に取り組もうとしている。
(教育学科)人間の発達・学習に関する事象と教育の実践について学ぼうとする意欲を持ち、人間と社会が抱える諸問題を解決するための学修に主体的に取り組もうとしている。

- 3.高等学校における学習によって、文学部での学修に必要な高等学校卒業相当の基礎的知識及びそれらを応用する力を有している。(知識・技能)

- 4.高等学校において得た知識・技能を活用し、達成すべき水準の思考力及び日本語力を用いて、大学での学びに関わる基礎的・一般的問題及び質問に文章及び口頭で答えることができる。(思考力・判断力・表現力)

以下の項目に該当する者については、5又は6を評価に加える。

- 5.スポーツや文化活動などで優れた実績を残し、本学入学後も課外活動の活性化に貢献しようと考えている。(知識・技能/主体的に学ぶ態度)

- 6.外国人留学生、帰国生、社会人として、大学における学修にそれぞれの強みを生かそうとしている。(知識・技能/主体的に学ぶ態度)

「教学上の方針」の詳細は
こちらからご確認ください



文学部
英文学科

学科HP



担当教員



Department of English

理念・目標

国際語としての地位にある英語の運用能力の涵養をはかるとともに、他文化・他者性に対して鋭敏な感覚を育むことで、多元的な文化に寛容な真の国際人を育成する。

専門分野

英米文学

英米の文学について、時代・ジャンル(小説・演劇・詩)を問わず広く学びます。文学から、人間・社会・文化の有り様を考察していきます。

英語学

英語の音声、文法、意味、歴史の研究を通して、言語の一般特性を解明します。言語を人間の心の認知システムの一つとして科学的にとらえる学問分野であり、「ことば」と「脳」から人間を理解していきます。

		1年次	2年次	3年次	4年次
専門教育科目	第1類	Integrated English I・II English Phonetics I・II	Integrated English III・IV Academic Writing I・II Introduction to English Grammar I・II	Integrated English V・VI Academic Writing III・IV Learning English as a Second Language I・II	Integrated English VII・VIII
	第2類	英米文学概説I・II 英語学概説I・II	英米文学講読I・II 英語学講読I・II	英米文学演習I・II 英語学演習I・II	英米文学演習III・IV 英語学演習III・IV
	第3類	分野 英米文学	イギリス文学史I・II イギリス詩I・II アメリカ文学史I・II	イギリス小説I・II イギリス演劇I・II アメリカ小説I・II 英米文学講読III・IV	アメリカ詩 アメリカ演劇 文学批評I・II
	第4類	分野 英語学	英語音韻論I・II 英語統語論I・II 初期英語I・II	音韻論I・II 文法論I・II 英語史I・II	言語学I・II 歴史言語学I・II
	第5類		ギリシア語初級I・II	ギリシア語中級I・II ラテン語初級I・II	ラテン語中級I・II
	第6類			異文化論I・II 英米思想史I・II	翻訳実践I・II
	第7類				卒業試験 卒業論文

Topics

学科の特色1

シェイクスピア作品から浮かび上がる
英国ルネサンス期のリアル

シェイクスピアの演劇作品を題材に、16世紀末から17世紀にかけての英国の支配体制や国際情勢に対して劇作家がどのように向き合っていたかを読み解きます。『ロミオとジュリエット』に代表される数々の悲劇が生み出された背景には、何があったのか。王権神授説や家父長制度、教会制度などを掘り下げながら当時のイギリス社会の知識を深め、作家が社会へ投げかけようとした疑問について考察します。公文書には書かれなかった英国ルネサンスのリアルに触れる知的体験は、大学での学びの醍醐味の一つです。



Topics

学科の特色2

発音の「楽譜」をつまびらかに
音の側面から学ぶ英語

私たちは普段、無意識に話していますが、そこには共通した発音の仕方やルールがあります。この「発音の楽譜」ともいえる仕組みを探るのが「音韻論」という学問です。本学科では、まず「English Phonetics」で発音記号や口腔内の使い方といった基礎を学び、その後、音韻論を通じて音の規則性や理論を深く探究します。「音」の側面から英語を学ぶことは知的好奇心を掻き立てるだけでなく、日本人が苦手とするリスニング力の向上に大いに役立ちます。



More Topics



熱い教員陣、高め合う仲間、充実の授業
理想の学び舎で夢を見つけた

3年 菅野 愛華 さん
(福島県／福島南高等学校出身)

英語を学べる大学の選択肢は多くありますが、オープンキャンパスで感じた明るく開放的な雰囲気と先生方に惹かれて本学を選びました。実際に入学すると、先生方の指導は熱量高くきめ細やかで、意欲的で真面目な学生が多く互いに高め合うことができ、思い描いた通り理想的な環境です。当初は漠然と「英語を使って仕事がしたい」と思っていたのですが、今は明確に中学校の英語教員をめざしています。教職課程の授業では、現場経験豊富な先生方の体験談から仕事のやりがいを感じました。学校で児童をサポートするボランティアでは、子どもたちと触れ合う楽しさを実感しました。教職をめざす本学学生のグループが小学生向けに英語教室を実施するボランティア「イングリッシュキャンプ」は特に有意義でした。中学生時代に憧れた先生のように、何でも相談できる教員になりたいです。



NEXT

続きは
こちらから



文学部
総合人文学科

学科HP



担当教員



Department of General Humanities

理念・目標

キリスト教に基づく人間形成を中心に、古今の書物との対話を通して現実世界との関わりを問い直し、変化する世界において自己を見失わず、しかも他者との相互理解・共生を可能とする強固な知的・精神的基礎をもった人材を育成する。

思想・哲学

古代中世から近現代まで、洋の東西を問わず幅広く思想・哲学・文学の書物を取り上げ、テキストとの対話を通じてより良く生きることを探究します。また、環境・生命・平和など現代の倫理的問題についても学びます。

文化・芸術

ギリシア・ローマ時代以来のキリスト教文化を中心に、多様な文化・芸術について学びます。美術、音楽、文学作品などの諸芸術の専門的な鑑賞や解釈方法を習得し、文化や芸術への理解を深めることをめざします。

宗教・神学

西洋世界の基盤となっている旧約、新約聖書の神学思想やキリスト教の歴史を深く学ぶことができます。また仏教やイスラム教などについても知識が深められ、宗教の観点から世界を眺める方法を学びます。

		1年次	2年次	3年次	4年次
専門分野 専門教育科目	第1類	総合人文学の基礎Ⅰ・Ⅱ			
	第2類	思想・哲学	ギリシア・ローマの思想と哲学 中世ヨーロッパの思想と哲学	近代ヨーロッパの思想と哲学 現代の思想と哲学 日本の思想と哲学	東洋の思想と哲学 日本思想史Ⅰ・Ⅱ 経済思想史Ⅰ・Ⅱ 宗教の倫理 生命の倫理
	第3類	文化・芸術	ヨーロッパ文化論 アメリカ文化論	ギリシア・ローマ文 日本文化論 日本文学史Ⅰ・Ⅱ キリスト教と美術 ヨーロッパ音楽史Ⅰ・Ⅱ	現代文化論 生活文化史Ⅰ・Ⅱ キリスト教文学Ⅰ・Ⅱ ヨーロッパ美術史
	第4類	宗教・神学	宗教史	イスラーム世界の形成と展開 アメリカのキリスト教 旧約聖書概説Ⅰ・Ⅱ 新約聖書概説Ⅰ・Ⅱ	宗教学Ⅰ・Ⅱ 仏教概説 古代キリスト教史 中世キリスト教史 近世キリスト教史 近現代キリスト教史
	第5類		教理史 文化遺産と現代社会 死生学Ⅰ	キリスト教教育Ⅰ・Ⅱ NPO・ボランティア論 死生学Ⅱ	旧約聖書神学Ⅰ・Ⅱ 新約聖書神学Ⅰ・Ⅱ 組織神学Ⅰ・Ⅱ 実践神学Ⅰ・Ⅱ
	第6類		英語講読Ⅰ・Ⅱ ギリシア語初級Ⅰ・Ⅱ	ドイツ語講読Ⅰ・Ⅱ フランス語講読Ⅰ・Ⅱ ギリシア語中級Ⅰ・Ⅱ ラテン語初級Ⅰ・Ⅱ ヘブライ語初級Ⅰ・Ⅱ	文学批評Ⅰ・Ⅱ
	第7類			人文学演習Ⅰ・Ⅱ	論文演習Ⅰ・Ⅱ

Topics

学科の特色1

死を学ぶことをとおして
「いのち」の課題を考察する

1年次の「総合人文学の基礎Ⅰ・Ⅱ（必修）」で死に関するテーマを取り上げます。2年次の「死生学Ⅰ（選択）」では学科の全教員の専門領域から生と死の問題を扱います。3年次には「死生学Ⅱ（選択）」で総合的な観点から死に関する課題や出来事を学び、「人文学演習Ⅰ・Ⅱ（必修）」ではさまざまなテーマから特に死生学に関心を持つ学生は自らの関心事に則した先行研究を調査し、発表します（写真）。そして4年次の「論文演習Ⅰ・Ⅱ（必修）」では卒業研究に取り組み、毎年数人の学生が死生学に関するテーマで卒業論文を執筆し、卒業しています。



Topics

学科の特色2

少人数ゼミで伴走型の卒業論文指導
ブラッシュアップ重ね完成度向上

学科生全員に卒業論文を課し、丁寧に伴走する指導が特徴的です。入学定員60名に対して教員11人を配置し、少人数制のゼミ形式で卒業論文指導を実施。各自がテーマに沿って考えを表現した論文をゼミで発表し、教員やゼミ学生、TA（ティーチングアシスタント）からのフィードバックを受けてリライトを重ね、ブラッシュアップしていきます。プレゼンテーションスキルやコミュニケーション力の向上につながり、他の学生の文章を評価することで自らも成長し、大学生活の集大成として完成度の高い卒業論文を書き上げることができます。



More Topics



人の根幹を掘り下げる学問
「自分はどうか生きるか」問い続ける

3年 佐久間 光 さん
（宮城県／古川黎明高等学校出身）

宗教、哲学、文化芸術などさまざまな角度から、人の根幹をなす部分、人間そのものに対して掘り下げていくのが本学科の学びです。学びをもとに「考える」時間も、圧倒的に多い。偉人たちの思想や宗教観を通じて「自分はどうか生きるか」「良い人生とは何か」を考え続けますが、一人で悶々と悩むのではなく、少人数でのディスカッションによって互いの考えを深め合えるのが特徴的です。

宗教について一般的なことしか知りませんでしたが、「新約聖書概説」の授業をきっかけにキリスト教をもっと知りたくなりました。先生の話がとにかくおもしろい。誰でも知っている有名なアニメ作品に、聖書の考え方や時間軸が反映されている事例を紹介するなど、キリスト教をぐっと身近に感じさせてくれました。卒業論文のテーマは「愛」。今は「愛ってなんだ」を、日々掘り下げています。



NEXT

続きは
こちらから



文学部 歴史学科

学科HP



担当教員



Department of History

理念・目標

広い歴史知識と歴史的な考え方を身につけ、現代社会をグローバルかつ歴史的に理解するとともに、地域の問題を広い視野から考える実践的な能力を養う。

専門分野

日本史

日本古代～現代までの歴史を、東北地方に焦点を当てるなど、さまざまな視点やテーマから学ぶことができます。

アジア史

多種多様な人々の営みからなる中国、内陸アジアの歴史を、政治や文化、民族などの面から研究していきます。

ヨーロッパ史

ヨーロッパ史について、固定概念を取り払って事象を分析し、人間の行動や思想に及ぶまで幅広く研究します。

考古学

日本、アジアなどの遺跡・遺物の測量調査や発掘調査から古代の社会や建造物を探ります。

民俗学

民俗学は、日常生活の歴史を探ります。衣食住、冠婚葬祭といった地域文化から、伝承の根強さと暮らしの変化を明らかにします。

専門教育科目

			1年次	2年次	3年次	4年次	
専門 教育 科目	第1類	演習	入門演習Ⅰ・Ⅱ	基礎演習Ⅰ・Ⅱ	日本史総合演習Ⅰ・Ⅱ アジア史総合演習Ⅰ・Ⅱ ヨーロッパ史総合演習Ⅰ・Ⅱ	考古学総合演習Ⅰ・Ⅱ 民俗学総合演習Ⅰ・Ⅱ 日本史論文演習Ⅰ・Ⅱ アジア史論文演習Ⅰ・Ⅱ ヨーロッパ史論文演習Ⅰ・Ⅱ 考古学論文演習Ⅰ・Ⅱ 民俗学論文演習Ⅰ・Ⅱ	
	第2類	講義	日本史概説Ⅰ・Ⅱ アジア史概説Ⅰ・Ⅱ ヨーロッパ史概説Ⅰ・Ⅱ 考古学概説Ⅰ・Ⅱ 民俗学概説Ⅰ・Ⅱ	歴史の中の東北 江戸から明治へ イスラーム世界の形成と展開 伝統アジアの社会と文化 ヨーロッパ近現代の国家と社会	アジアにおける国家の誕生 近現代日本と東アジア ヨーロッパ中近世社会史 アジアの王権と思想	日本史の諸問題Ⅰ・Ⅱ アジア史の諸問題Ⅰ・Ⅱ ヨーロッパ史の諸問題Ⅰ・Ⅱ 考古学の諸問題Ⅰ・Ⅱ 民俗学の諸問題Ⅰ・Ⅱ	
	第3類	実習・購読		古文書学Ⅰ・Ⅱ アジア史基礎講読Ⅰ・Ⅱ ヨーロッパ史基礎講読Ⅰ・Ⅱ 民俗学調査入門Ⅰ・Ⅱ 考古学実習Ⅰ ギリシア語初級Ⅰ・Ⅱ	日本史専門講読Ⅰ・Ⅱ アジア史専門講読Ⅰ・Ⅱ ヨーロッパ史専門講読Ⅰ・Ⅱ 考古学実習Ⅱ・Ⅲ 民俗学実習Ⅰ・Ⅱ	ラテン語初級Ⅰ・Ⅱ ギリシア語中級Ⅰ・Ⅱ	日本史専門講読Ⅲ アジア史専門講読Ⅲ ヨーロッパ史専門講読Ⅲ ラテン語中級Ⅰ・Ⅱ
	第4類	隣接科目		地誌学Ⅰ・Ⅱ 日本文学史Ⅰ・Ⅱ	自然地理学Ⅰ・Ⅱ 人文地理学Ⅰ・Ⅱ 日本美術史 ヨーロッパ美術史	生活文化史Ⅰ・Ⅱ 日本経済史Ⅰ・Ⅱ 西洋経済史Ⅰ・Ⅱ 日本思想史Ⅰ・Ⅱ	

Topics

学科の特色1

幅広い分野を ワンストップで学べる

東北学院大学の歴史学科では、日本史、アジア史、ヨーロッパ史と日本と世界の歴史を網羅的に学べるのみならず、考古学、民俗学と人の営みに関わる幅広い分野までも探究できる環境を整えています。それぞれの分野に合計17人もの充実した教授陣が配置されており、例えば日本史を取り上げても、古代・中世・戦国・近世・近現代と時代別に5人もの教員が在籍しています。皆さんの歴史への興味を満たしてくれるでしょう。

Topics

学科の特色2

徹底した少人数・実学教育

幅広い分野を1か所で学べる特色と並ぶ特徴に、各教員のもとで卒業論文を作成するゼミ制度があります。自分の興味関心で研究テーマを決め、指導教員を選んでゼミに入門します。3年次から選んだ教員とともに、その時代や分野の専門を学んでいきます。1つのゼミでも多くて15人ですので、教員と同級生との距離が近く、個人指導やグループワークを通して研究分野の知識を深めることができます。研究分野によっては、大学を出たさまざまな場所でフィールドワークをするのも特色の1つです。大学の内外での学びを積み重ね、社会に出る力を実践的に学びます。歴史学科での学びを通して、広い世界に羽ばたきましょう。

歴史を立体的視点で学ぶ

「好き」をとことん追究できる環境

3年 千葉 偲月 さん
(岩手県／一関第二高等学校出身)

子どもの頃から歴史と博物館めぐりが大好き。そんな私にとって進学先は、本学一択でした。授業は期待通りのおもしろさです。一番の魅力は、日本史、アジア史、ヨーロッパ史、考古学、民俗学の各分野に一流の教員陣がそろっていること。歴史を立体的な視点で見ることができます。先生方も学生もそれぞれの「好き」をとことん追究している雰囲気が気に入っています。

所属するゼミは鎌倉時代の「板碑」の共同研究に関わっていて、調査や展示の手伝いをする機会が多いです。岩手県平泉町で毎年開催される新能のボランティアや、講演会などで受付スタッフのバイトをするなど、毎日どっぷり歴史学に浸かっています。将来は学芸員の資格を活かして働くのが夢。地元の一関市には貴重な資料を所蔵する博物館・資料館が多くあるので、その魅力をもっと広く伝えたいです。



More Topics



NEXT

続きは
こちらから



文学部 教育学科

学科HP



担当教員



理念・目標

人がよりよく生きるための学びと人間的成長を支援することができる、豊かな知識・技能・姿勢を備えた人物を養成する。

専門分野

教育学

教育一般、子どもの発達と学習及び学校教育に関する基礎的・基盤的な知識・技能・姿勢について学びます。

児童教育

小学生に学習指導および生徒指導を行うために必要な、基礎的・基盤的な知識・技能・姿勢について学びます。

英語教育

小学校教師また中学・高校の英語教師として必要な英語力を育て、英語そのものそして英語学習・英語指導について深く学びます。

異文化理解教育

ことばや文化が異なる他者と共生する力を育てるために必要なことを学びます。

教職実践

生徒指導、授業づくり、ICT教育、防災・安全教育などに関して発展的に学習し、教師としての実践力を高めます。

専門教育科目

		1年次	2年次	3年次	4年次
専門教育科目	第1類 教育学	教育学入門演習※ 教育基礎論※	教育心理学※ 教育課程論※	発達心理学 学級経営論 教育社会学	生涯学習論
	第2類 児童教育	国語概説(書写を含む)※ 生活概説 体育概説 初等教科教育法(生活)	社会概説※ 算数概説※ 理科概説※ 音楽概説 図画工作概説 家庭概説 児童英語概説※ 初等教科教育法(国語)※ 初等教科教育法(音楽)	初等教科教育法(社会)※ 初等教科教育法(算数)※ 初等教科教育法(理科)※ 初等教科教育法(英語)	
	第3類 英語教育	英語教育学概論※ 実践英語発音学 I※ 総合英語コミュニケーション演習Ⅱ※	教育英語学概論※ 英米文学概論※ 英米文学講読 実践英語発音学Ⅱ 総合英語コミュニケーションⅢ・Ⅳ	英米小説Ⅰ・Ⅱ 教育英文法Ⅰ・Ⅱ※ 英米演劇Ⅰ・Ⅱ 英語史Ⅰ・Ⅱ 英語コミュニケーション概論※ 総合英語コミュニケーション演習Ⅴ・Ⅵ 英語教育実践(海外研修)	第二言語習得論 社会言語学概論 応用言語学概論
	第4類 異文化理解教育			異文化理解 異文化間コミュニケーション論※ 多文化・グローバル教育 平和教育	シティズンシップ教育 持続可能な発展のための教育(ESD)
	第5類 教職実践		学習支援実践(インターンシップ)	ICT 活用の理論と方法※ 学級経営・生徒指導実践 授業づくり実践Ⅰ(国語・算数・外国語) 授業づくり実践Ⅱ(社会・理科・生活)	学校経営・協働教育実践 安全・防災教育実践 授業づくり実践Ⅲ(家庭・道徳・総合的な学習) 授業づくり実践Ⅳ(音楽・図画工作・体育)
	第6類 演習・卒業研究			教育学演習Ⅰ・Ⅱ※	卒業研究Ⅰ・Ⅱ※

※必修科目

Topics

学科の特色1

ハイレベルなコミュニケーション演習で 英語に自信のある教員を育成

「英語に自信のある教員を育てたい」という強い願いのもと創設された教育学科。オールイングリッシュで意見交換や発表を行う「総合英語コミュニケーション演習」が特徴的です。自分で選んだ英字新聞などの記事を題材に英語で語り合う内容が中心で、1～3年次まで継続して受講することで、より実践的なスキルや自然なコミュニケーション力が身につきます。小学校と中学・高校(英語)の教員免許状を取得できるカリキュラムを設定しており、語学力の向上だけでなくすべての校種で優れた英語指導ができる人材を育成します。



Topics

学科の特色2

少人数制ならではのきめ細やかさ 実践を重ね確かな指導力を習得

少人数制ならではの丁寧な実践授業を通して、学習指導・生徒指導の両面の力を着実に養います。一学年の定員を70名とし、教科によってはさらにグループに分割して授業を実施。一人ひとりが授業案や教材を作成して模擬授業を行い、的確なフィードバックを受けて次の模擬授業に活かすことを繰り返しながら、現場での対応力を磨きます。教員陣は、教育の専門家や元小中高の教師らで構成され、豊かな現場経験や業界の最新事情を踏まえた多角的な指導が特色。各教科の専門教員を配置し、希望する進路ごとにきめ細やかにサポートします。



英語指導力の育成に強み

本気で教員をめざす人に最高の環境

3年 武藤 美杜 さん

(宮城県／東北学院榴ヶ岡高等学校出身)

教育学科をめざす中で、本学は全校種の免許が取得できることと、英語教育に力を入れていることに魅力を感じ志望しました。1年次の初めからオールイングリッシュの授業があると知ったときはとても不安でしたが、先生方のアイデアあふれる授業のおかげでついていけましたし、いつの間にか苦手意識が消えました。

正直、授業と演習の繰り返しでヘトヘトになることもあります。でもすごく濃密な毎日で充実していますし、仲間も同じように頑張っていることが大きな励み。みんなと一緒にだからやってこられました。本学科の強みである英語指導力は、小学校教員採用試験で大きなメリットだと思います。少人数制できめ細やかな指導を受けられること、先生方との距離の近さ、学生同士高め合う雰囲気など、本気で教員をめざす人には最高の環境だと断言できます。



NEXT

続きは
こちらから

